

令和4年度岩美町廃棄物減量等推進審議会 議事概要

1. 日 時 令和4年12月23日（金）午後1時30分～午後2時00分

2. 場 所 岩美町役場 2階 ミーティング室

3. 出席者 【委員】7名 【事務局】2名

4. 概 要

○町長あいさつ

<町長>

年末のお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。ごみの減量化に向けてご審議いただきますようお願いいたします。また、新型コロナウイルス収束の兆しが見えない中ではありますが、感染防止対策やワクチン接種のお願いをしまいたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

○報告と正副会長の選出について

- ・所用のため当日欠席した委員について報告
- ・正副会長の選出

○以後の議事について会長が進行

<会長>

議題1に続き、議題2ごみ処理の現状について、事務局は説明を。

<事務局>説明

(1) 可燃ごみの処理量の推移

年度別の可燃ごみ量は、令和元年度まで右上がりが増加していたものが令和2年度以降は、新型コロナウイルスの影響によるものと思われるが、大きく減少しています。

今年度の10月末時点での可燃ごみ量は、令和3年度の1,250tに対し令和4年度は1,288tと、若干増えている。背景として、観光客等人の流れが段々とコロナ前に近づいていることが考えられます。

(2) 不燃ごみの処理量の推移

資源ごみ、プラスチックごみ、小型破碎ごみで前年と比較して減少している。令和3年度までは、事業所から排出される不燃ごみについて、事業活動に伴わない、従業員の飲食によって生じる容器なども町が収集を行う場合がありましたが、令和4年度からは、事業所責任のもと産業廃棄物としての処理をお願いしていることから、そういったものが減少したことが理由として考えられます。

<会長>

議題2について質疑はありませんか。(質疑なし)

<会長>

続いて、議題3ごみの減量対策について、事務局は説明を。

<事務局>説明

(1) コンポスト、生ごみ処理機購入費補助制度等実施状況

町は生ごみ減量対策として、コンポストと生ごみ処理機の購入に対する助成を実施しています。自分も家で生ごみ処理機を利用していますが、水分が飛んだ後の生ごみは驚くほど軽くなり、ごみ出しの負担が軽減されるので、こうした機器を利用するメリットを周知し、町民のみなさんにどんどん利用してもらいたいと考えています。

(2) 資源回収の推移

令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響で実施団体が減り、回収量も減少しましたが、PTA等が継続して実施している活動を引き続き支援します。

(3) 布団・衣類の回収量について

令和2年度の審議会でお諮りしたとおり、令和3年度から、布団と衣類を回収して固形燃料にリサイクルする事業を行っております。

回収量が、令和3年度の15tに対して今年度は10月末時点で13tと、年間通して考えると増加が見込まれます。このように、可燃ごみとして出していた衣類がごみではなく資源として活用されることを多くの町民に知っていただけるよう、より一層の周知を図っていきます。

<会長>

議題3について質疑はありませんか。

<委員>

資源回収を実施しているのはどのような団体か。

<事務局>

令和3年度実績で4団体となっている内訳は、町内3小学校のPTAと、集落の子ども会が1団体です。また、令和元年度以前に6団体となっているのは、それに加えて別の集落の子ども会でも取組をしていたためです。

<会長>

続いて、議題4町指定ごみ袋極小サイズの作成検討について、事務局は説明を。

<事務局>説明

「一人暮らしで小のごみ袋に入れて出すほどごみが出ないが、生ごみはためたくない。小よりも小さい、極小サイズの指定ごみ袋を作ってはどうか」という意見があり、10月に集落・町内会を通してアンケート調査を実施しました。結果としては、合計約2千件の回答があったうち、「利用したい」との回答が約10%、「利用するつもりはない」との回答が約75%、「わからない」との回答は約15%でした。

県内では、鳥取市、米子市、境港市で100ごみ袋を極小サイズとして導入しておりますが、町村では導入事例はありません。

町として、極小サイズの指定ごみ袋を作成するべきか、そうでないか、委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。

<委員>

100といっても、どれくらいの大きさなのか。見本はないか。

<事務局>

100の袋の見本はありませんが、指定袋の小が200なので、約半分になります。
(実際に町指定袋の小を半分にした状態を見せて説明)

<委員>

そこまで小さいものは要らないのではないか。

<委員>

ごみ出しをする際には、生ごみだけで一杯にならなくても他のものを入れて出している。

<委員>

作るのにお金もかかる。必要ないと思う。

<委員>

極小サイズのごみ袋を検討するよりも、コンポスト容器、生ごみ処理機の周知に力を入れた方がごみ減量につながると思う。

(必要ないという声が多数)

<会長>

他になければ、意見をまとめます。この件に関しては必要ないとしてよろしいでしょうか。

<委員>

異議なし

○その他 リンピアいなば1月からのごみ受け入れ再開について説明

<委員>

神谷清掃工場があと何年くらい運転が可能か、というのはわかるか。再びリンピアいなばで不具合が起こった場合が心配。

<事務局>

1月から3月の間、リンピアいなばは試運転期間としてごみを受け入れ、神谷清掃工場はいつでも運転できるよう待機状態にするが、4月にリンピアいなばが本稼働してからのことはわかりません。

○閉会